

# ラ・ソース大学から 留学生を受け入れました

令和4年11月14日～12月2日までの約3週間、スイスラ・ソース大学と本学間の交流協定に基づき、留学生を2名受け入れました。

留学生は、本学での看護演習や講義を通して日本の看護学・医療制度について学びました。

おりづるタワーから



本学学生と演習

HICARE（放射線被曝者医療国際協力推進協議会）を訪問した際は、原爆被害の実態や、放射線災害医療についてご講義をしていただき、平和について考える機会となりました。

また、広島県内にある赤十字施設を訪問し、日本赤十字社の活動（医療事業、血液事業、災害救護、国際活動など）についての理解を深めました。

さらに、書道や茶道といった日本文化の体験、広島市内・宮島や岩国観光も楽しみました。

学内演習や講義の際は、本学学生も参加し学生間の交流を深めました。コロナ禍の中でも、留学生と直接英語でやり取りすることができ、学生たちにとっても良い刺激となりました。

本学での最終日には留学生が本学における学習のまとめとなるプレゼンテーションを行い、修了証が学長から手渡されました。

令和5年3月には本学学生が、ラ・ソース大学へ派遣される予定です。



無事修了！



日本赤十字広島看護大学  
国際交流センター運営委員会